AMD－RS232C－SOUND　Ver1、Ver2取扱説明書

1.　概要

RS232C接続で、アマチュア無線用のAFSKとFSKのデジタルモード運用が可能なインターフェースです。

デジタルモード用出力（RTS＝PTT、FSK＝TXD）に割り付けています。

パソコンのマイク入力から受信し、AFSKモードの場合、パソコンのスピーカ出力から、変調用出力を送出します。

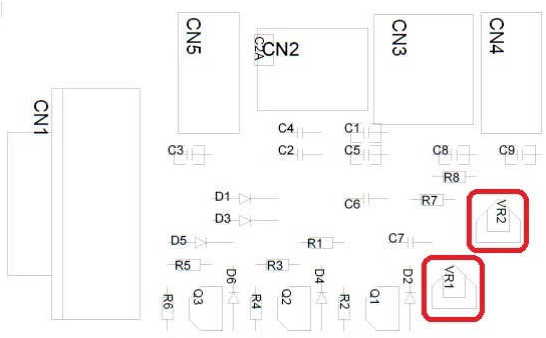
Ver1は、コネクタ接続タイプ、Ver2は、ケーブル直出しタイプです。

USB－RS232C変換ケーブルを使用される場合、変換ケーブルによっては、正常に動作しないものがあります。

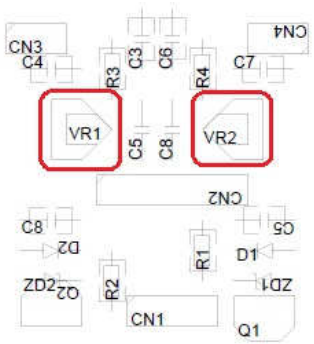
本説明書は、USB－RS232C変換ケーブルを使用せず、パソコン内蔵のRS232Cポートを使用する場合の例です。

2.　ボリューム（半固定抵抗）の設定

ケースのフタをあけると、ボリューム（半固定抵抗）が2個見えます。



AMD-RS232C-SOUND Ver1.0 部品配置



AMD-RS232C-SOUND Ver2.0 部品配置

ボリュームは、VR1がAFSKモードでの、音声出力（送信、TX））レベルの調整、VR2が音声入力（受信、RX）レベルの調整用です。

3．パソコン、無線機との接続

AMD-RS232C-SOUND Ver1.0 概観

AMD-RS232C-SOUND Ver2.0 概観

MIC（モノラルミニジャック）：パソコンのマイク入力との接続用

SP（ステレオミニジャック）：パソコンのスピーカ出力との接続用

ACC（ミニDIN6ピンジャック）：無線機のアクセサリ端子等の接続用

1番ピンはMOD（変調出力）で、無線機の変調入力（AF　IN）に接続します。

2番ピンはGND（0V）で、無線機のGND（0V）と接続します。

3番ピンはPTT（PTT出力）で、無線機のPTT入力（PTT）と接続します。

4番ピンはアキで、なにも接続しません。

5番ピンは変調入力（RCV）で、無線機の変調出力（AF　OUT）と接続します。

6番ピンはFSK出力で、無線機のFSK入力と接続します。

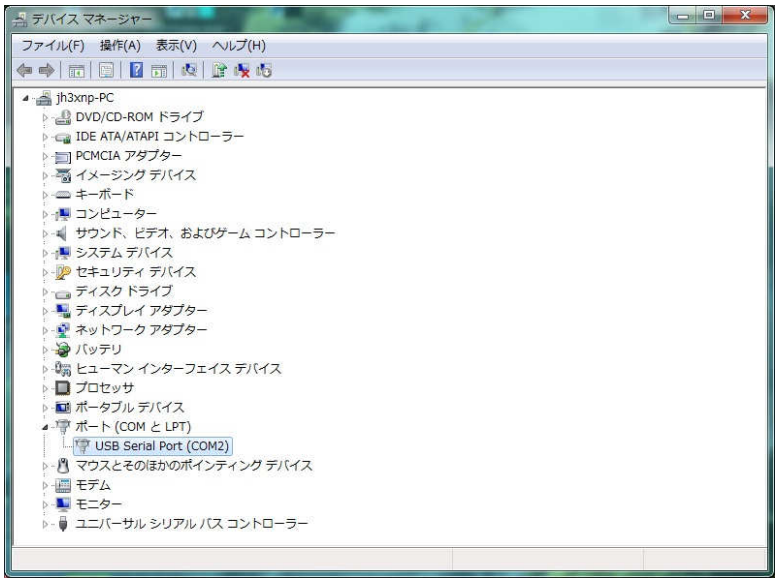
RS232C（DSUB9ピンメスジャック）；パソコンのRS232Cコネクタとの接続用

5．　本装置が割り付けられているCOMポート番号の確認

パソコンの「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスマネージャ」を開きます。

ポート（COMとLPT）の左の三角矢印をクリックすると、COMポートが表示されます。

本例の場合COM2に割り付けられています。

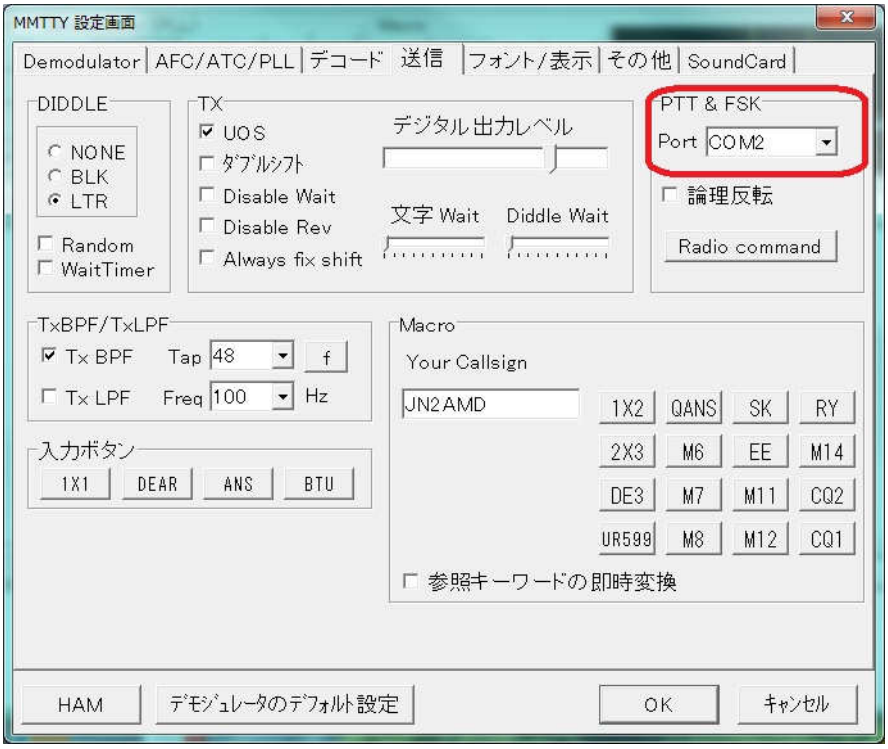


6. MMTTYの設定方法

（1）JE3HHT局のホームページ http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmtty/index.html から、MMTTYをダウンロードしてください。

（2）MMTTYを、パソコンにインストールしてください。

（3）MMTTYを起動し、オプション→設定画面→送信を選択すると下記画面となりますので、PTTのポートを割り付けられたCOMポート番号に設定しOKをクリックします。



（4）FSK出力を行うには、オプション→設定画面→その他を選択すると下記画面となりますので、送信ポートをサウンド＋COM-TxD(FSK)に設定しOKをクリックします。

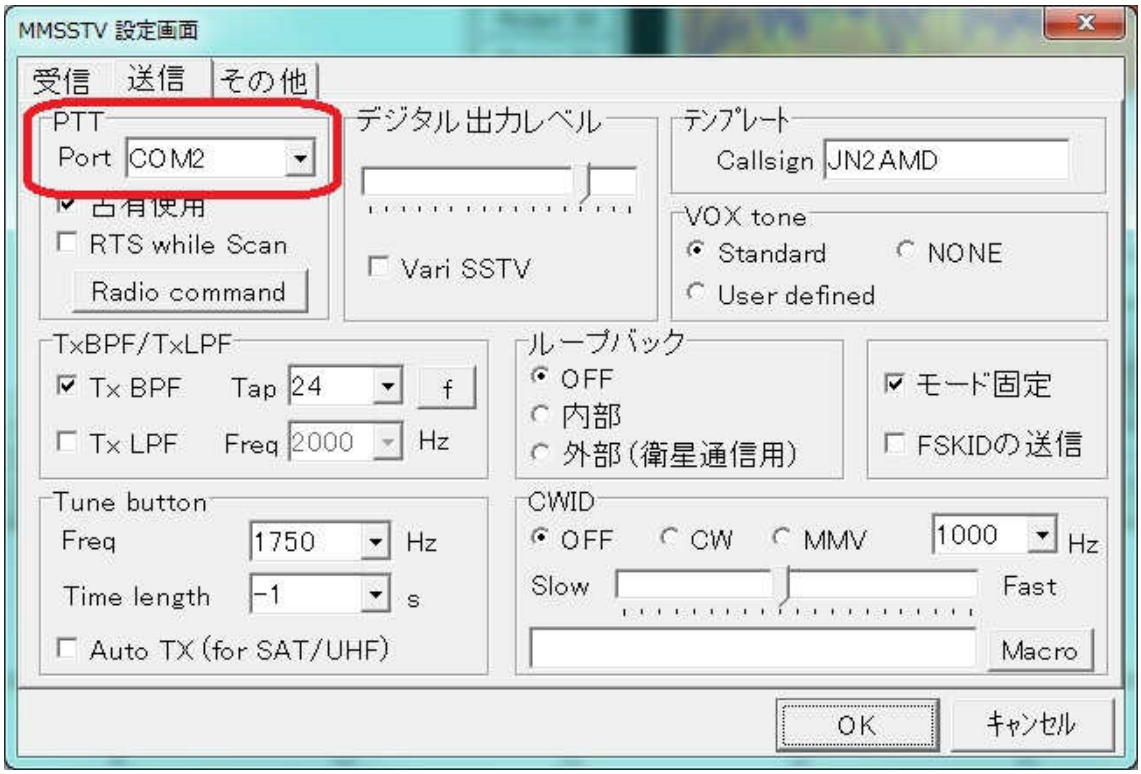
以上で本装置に関するMMTTYの設定は、完了です。

7. MMSSTVの設定方法

（1）JE3HHT局のホームページ http://www33.ocn.ne.jp/~je3hht/mmsstv/index.html から、MMSSTVをダウンロードしてください。

（2）MMSSTVを、パソコンにインストールしてください。

（3）MMSSTVを起動し、オプション→設定画面→送信を選択すると下記画面となりますので、PTTのポートを割り付けられたCOMポート番号に設定しOKをクリックします。



以上で、本装置に関するMMSSTVの設定は、完了です。

以上